

※この寿楽だよりは、当店の特別なお客様のみに限定してお送りしています。

# 寿楽だより (第19号)

H28.2.1



割烹 寿楽 店主 甲斐田 功  
仕出し (☎ 0957-53-6181)

## 運について

人間の運は一種類ではない。  
「出世運」「名誉・名声運」「財物・金運」「肉親運」「知人・友人運」「仕事運」「家庭運」「夫婦運」「健康運」等分類の仕方次第で数限りがない。  
運のない人はいないし、また全ての運を合わせ持つ者もない。  
仕事運に恵まれば家庭運を損ないやすく、金運と名声運は両立がなかなか難しい。  
※ 運をどう掴むかはその人次第、運のいい人の行動パターンや考え方は結局「よりよく生きること」に繋がっているといえよう。

## シルバー川柳

デザートは昔ケーキで今くすり  
ごはんだよ猫を呼んだら亭主来た  
年かさねくしゃみするの命がけ  
お迎えと言いなよケアの送迎車  
医者と妻急にやさしくなる不安

## 節分

豆をまくときの掛け声と言えば「鬼は外、福は内」が一般的ですが、地域によっては「鬼も内（鬼は内）」というところもあります。鬼を祀った神社では鬼を悪とみなさないようです。また「鬼」の付く姓（「鬼塚さん」「鬼頭さん」など）の家庭もしくは鬼がつく地名の地域でも「鬼も内」の掛け声が多いそうです。

## 私たちの中の「江戸しぐさ」

私たちの日常の、何気ない体の動きや言葉、実はそのルーツの多くが、「江戸しぐさ」にあるというのをご存知ですか？ 江戸の町人たちが、互いに気持ちよく暮らすために知恵を出し築き上げた「江戸しぐさ」をご紹介します。

### ・お心肥（おしんこやし）

その文字の通り、「心」に肥料を与え、豊かにすること、人間力をつけることです。おいしいものを食べて体を肥やすこと以上に、心を豊かにしましょう。学問を学び、文化・芸術に触れ、人格を磨きましよう江戸しぐさは戒めます。

### ・陽にとらえて

人の短所は知った上で、いいところに目を向けて付き合う。物事は楽観的にとらえた方がその先が明るいと考えたのでしよう。何事も前向きに、肯定的にとらえて、人生楽しくという、いかにも陽気な江戸っ子らしい江戸しぐさです。

### ・江戸っ子が嫌った「自堕落しぐさ」

何事にも、時と場合を考え、やっていいことと悪いことをわきまえるのが大人。それを守れないのが「自堕落しぐさ」。だらしない生活態度として、粋な江戸っ子には嫌われました。現代で言えば、電車の中で、携帯電話で大声で話したり、化粧したり、お弁当を食べたり・・・は、江戸っ子に嫌われそうです。

## 陽だまりのフキノトウ

春は苦味のもの。土手の陽だまりには、フキノトウが芽生えます。  
凍土を割って萌えだす芽には、春のエネルギーがこもっており、それを食べれば、人間も新芽のように若返ると、昔の人は信じていました。冬の間に不足していた新鮮な野菜をとることは、今でいえばビタミンCやカロテンなどの抗酸化成分などを補給することを意味しています。  
「吸物の良薬口にふきのとう」  
春は苦味、夏は酢もの、秋は辛味、冬は油もの（日本人の薬食同源の知恵）

## 冬季期間限定メニュー（1日10食限定 1,650円+税）



## 鍋ご膳

- 一人鍋  
すき焼風  
うどん付
- 刺身
- 小鉢
- ご飯
- 漬物

## 恵方巻き

【意味】恵方巻きとは、節分にその年の恵方をむいて食べると縁起が良いとされる太巻き。丸かぶり寿司。恵方寿司。恵方巻き。吉方巻き。  
【恵方巻きの語源・由来】  
恵方巻きの「恵方」は、陰陽道でその年の干支によって定められた最も良いとされる方角のことで、その方向に歳徳神(としとくじん)がいるといわれる。  
巻き寿司を切らず一本丸ごと食べるのは「縁を切らない」という意味が込められており、七福神にちなんで「かんぴょう」「きゅうり」「伊達巻」「うなぎ」など七種類の具材が入れられ、「福を巻き込む」という願いも込められている。

## 恵方巻きご膳 1,200円 + 税



2月1日・2日・3日 限定